

(家庭数配布)



国際理解教育講演会を行いました。

先月28日、豊中市教育委員会・人権教育係にお勤めの金生遵（キム・センジュン）さんを講師としてお招きし、国際理解教育講演会を行いました。ねらいは次の通りです。

- ・外国にルーツがある人への正しい理解と認識を深め、「共に生き、共に学び、共に育つ」社会の実現をめざす子どもを育てる。
- ・韓国の文化にふれ、韓国について知る。
- ・互いの個性、文化を尊重し、互いに認め合える集団をつくる。

なお、今回の講演会を行う前の事前学習として、各クラスで韓国の文化にふれることを目的として、韓国のコマ回しやすごろくなどを体験する時間をとっていました。そして今回の講演会を迎えました。講演会は子どもたちの発達段階に合わせ、2学年ずつに分割して3回行い、いずれも金さんは子どもたちにやさしく語りかけるようにお話をしてくださいました。

内容としては、金さんの祖父母が当時行われていた戦争を避けるために来日されたことに始まり、子どもたちが興味を持つように韓国のジャンケンや遊び、その他生活習慣の違いなども教えていただきました。子どもたちにとっては、どれも意外だったようで、感嘆の声の連続でした。金さんは、ご自身が韓国人であることで日本人の子どもから差別的な言葉をかけられ落ち込んだこと、一方、「遊ぼうぜ。」と誘われ、くたくたになるまで一緒に遊び、とても元気になれたこと、などもお話ししてくださいました。

保護者の皆様、ぜひお子様から「どんな話だった。」とお聞きください。このお話をきっかけとして、各ご家庭でも実りある対話が行われれば、学校としても幸いです。

金さんは、このお話の中で何よりも「自分と違うことがあっても、それを否定するのではなく、まず全て受け入れることの大切さ」を教えていただいたように思います。今回の金さんのお話は、子どもたちの心に大変有意義なものを残してくれたのではないのでしょうか。



チマチョゴリ
(韓国衣装)

読み聞かせボランティアの皆様



ありがとうございます！！

本校では毎週水曜日の朝の読書タイムについて、月1回は保護者と地域在住ボランティアの皆様にご越しいただいての「読み聞かせ」の時間としています。この取り組みも、昨年度は体育館からの配信で行っていたのですが、やはり目の前に人がいて、直に声を聞かせてもらった方がより伝わることもあると思います。今年度からは思い切って対面での形式を復活させています。読み聞かせが行われている時間に校内を回ってみると、どの教室でも、前におられるボランティアの方の声に熱心に耳を傾ける子どもたちの姿が見られます。そして、学校として本当にありがたいなと思うことは、ボランティアの方に「子どもたちがしっかり話を聞いてくれた。嬉しかった。」と言っただけのことです。オンラインの形式では、子どもたちはお話を聞くことはできますが、ボランティアの方には子どもたちの表情が見えません。やはり、人と人、おたがいの顔を見ながら話をすることは、とても大切ですね。

読み聞かせボランティアの皆様、これからも大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

表に見えない活動に心より感謝

今年度のPTAの活動として「緑地の輪」、そして今月予定されている「キャンドルナイト」などは、子どもたちが実際に学校に集まっての開催となっています。過去2年間はコロナの影響で子どもたちが参集してのイベントが中止となっていたこともあり、「3年ぶりの〇〇」といった表現が使われますが、ある保護者の方とお話する中で、そうでもないことが分かってきました。実は、参集しての開催はできていなかったのですが、この2年間、「緑地の輪」ではWEB開催、紙面開催、子どもたちの作品募集などの活動は行われていて、「緑地の輪」がなかったわけではないとのことでした。また、キャンドルナイトにしても、過去2年間の他校のキャンドルナイトの見学に行かれるなどの蓄積が今年度活かされているそうです。ですから「3年ぶりの開催」ではなく、「3年かけての開催」とした方が、より正確な表現になるとのことでした。私も以前のこの紙面で「3年ぶりの開催」という表現を使っていることがありましたが、訂正致します。

「縁の下の力持ち」という言葉があります。過去2年間があつてこそ今年があることを考えると、過去2年間のPTA役員の皆様は、まさにこの縁の下の力持ちなのではないのでしょうか。2年間の活動に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

